

発行日：2025年 6月 27日



株式会社 エコリレーション



2024年度
エコアクション21環境経営レポート

(2024年4月1日～2025年3月31日)

認証・登録番号 0008039



ごあいさつ

2024年9月に工事が始まり、2025年3月竣工となりました。

竣工に際しまして、長きにわたりご支援をいただきました関係各位の方々には心から感謝申し上げます。

新オフィスでは、より快適な環境と効率的な業務を目指し社員一同さらなるサービス向上に努めてまいります。

今後とも、変わらぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



2024年3月中旬

社内安全を祈願して、
ご祈禱を受けました



2025年3月15日

新オフィスへの引っ越しのお祝いです



2024年9月工事スタートのころ

社員全員ワクワクでした



2Fのフリースペース



皆さまをはじめにお迎えする玄関



2024年12月下旬

足場が解体され外観が現れました
ますます楽しみになってきました



2024年11月下旬ころ

足場で見えないからこそ気になるものでした

1. 環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社エコリレーションは、環境保全への取り組みが重要であることを認識し、廃棄物の収集運搬業務を通じて、循環型社会構築に向けて貢献・協力を行い地球環境の為、環境負荷の削減を継続的に実施するよう努め、地域・社会に貢献することにより、顧客満足の上昇を図り社員の豊かな生活の実現のため「選ばれる会社」を目指します。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境汚染関連法規・規制等の遵守に努めます。
2. 全従業員に対する環境教育を実施し、環境保全に対する意識の向上に努めます。
3. 環境負荷の低減を目指し、水光熱使用量の削減と、収集運搬における燃費の向上を行います。
4. 近隣・地域の環境保全並びに工場内の環境衛生の保持に努めます。

この環境方針は社内に掲示し、全従業員に周知・徹底するとともに、社外にも開示いたします。

令和 5年 9月 1日



株式会社 エコリレーション

代表取締役

富塚 充

2. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 エコリレーション

代表取締役 富塚 充

(2) 事業内容

- ◇ 産業廃棄物収集運搬業(山形) 許可番号:00611007329号 (優良認定)
- ◇ 産業廃棄物収集運搬業(福島) 許可番号:00707007329号
- ◇ 産業廃棄物収集運搬業(宮城) 許可番号:00400007329号
- ◇ 特別産業廃棄物収集運搬業 許可番号:00651007329号 (優良認定)
- ◇ 一般廃棄物収集運搬業 (上山市・新庄市・中山町・山辺町)

(3) 事業の範囲

産業廃棄物収集運搬業許可

2025年4月1日現在

※表記中【○】は取り扱う事の出来るもの、【◎】は積替え保管のできるものを示す。

計 可 都 道 府 県 市	許 可 番 号	優 良 認 定	許 可 の 年 月 日 許 可 の 有 効 期 限	廃 棄 物 の 種 類	燃 料	汚 泥	腐 蝕 性 液 体	腐 蝕 性 固 形 物	ア ル カ リ 性 固 形 物	紙 類	木 質 類	織 物	動 植物 性 残 渣	ゴ ム	金 属	ガ ラ ス	鉛 酸 蓄 電池	ガ ン 毒 物 質	ば い じ ゃ ん 物	1 3 号 廃 棄 物	石 綿 含 有 廃 棄 物	水 銀 使 用 製 品 廃 棄 物	水 銀 含 有 ば い じ ゃ ん 等	感 染 性 廃 棄 物	
				般 泥 油 酸 リ 類 ず ず ず さ ず ず 等 い 類 ん 物 物 物 物 物 物																					
山形県	第00611007329号	○	平成30年10月31日 令和7年10月30日		○◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
福島県	第00707007329号		令和3年5月10日 令和8年5月9日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮城県	第00400007329号		令和3年8月3日 令和8年8月2日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

山形県	第00651007329号	○	平成30年8月7日 令和7年7月29日																						

一般廃棄物収集運搬事業

上山市	第R7収-4号	ごみ、粗大ごみ 汚泥及び廃食油	令和7年4月1日 令和9年3月31日
新庄市	第R7-収1号	汚泥	令和7年4月1日 令和9年3月31日
中山町	16	汚泥	令和7年4月1日 令和9年3月31日
山辺町	第23-33号	汚泥	令和6年3月30日 令和8年3月29日

産業廃棄物積替保管所

管理者	株式会社 エコリレーション
種類	廃プラスチック類、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、 紙くず、木くず、繊維くず、がれき類、 廃油、汚泥・廃油、廃酸、廃アルカリ、 動植物性残さ、廃乾電池、 廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物）、 廃蛍光管（水銀使用製品産業廃棄物） （これらのうち特別管理産業 廃棄物であるものを除く。）
保管面積 47 m ² 保管容量 41 m ³	
連絡先	023-695-5678

関係者以外立入禁止

(4) 積替保管施設の面積と保管上限量

		面積 (m ²)	保管上限 (m ³)	積上高さ
1	廃プラスチック類	7	7.8	1.3 (屋内)
2	金属くず	5	3.3	1.0 (屋内)
3	ガラスくず等	4.5	3.3	1.0 (屋内)
4	紙くず	4.5	3.3	1.0 (屋内)
5	木くず	7	7.8	1.3 (屋内)
6	繊維くず	5	3.3	1.0 (屋内)
7	がれき類	7	7.8	1.3 (屋内)
8	廃油	0.64	0.2	1.0 (屋内)
9	汚泥・廃油	1.3	1	1.2 (屋内)
10	廃酸	1.3	1	1.2 (屋内)
11	廃アルカリ	1.3	1	1.2 (屋内)
12	動植物性残さ	1	0.4	1.0 (屋内)
13	廃乾電池	0.28	0.04	0.35 (屋内)
14	廃乾電池 (水銀使用製品産業廃棄物)	0.40	0.08	0.35 (屋内)
15	廃蛍光管 (水銀使用製品産業廃棄物)	0.68	0.51	2.4 (屋内)

(5) 所在地と連絡先

住所: 〒999-3201 山形県 上山市 宮脇 字山岸 237 番地

連絡先: TEL 023-695-5678 FAX 023-695-5679)

メール: info@eco-rela.com

担当者: 環境管理責任者

(6) 組織図



(7) 事業の規模

創業:昭和48年 6月 資本金:800万円

活動範囲	単位	2024年 (2024.4.1~2025.3.31)	2023年 (2023.4.1~2024.3.31)	2022年 (2022.4.1~2023.3.31)
売上高	百万円	519	470	408
収集運搬量 (一般+産廃)	t	9,552.35	9,535.19	10,122.32
従業員	人	19	19	19
床面積	m ²	886.29	886.29	886.29

(8) 施設等の状況

2025年3月末現在					
車両型式	台数	積載荷重	車両型式	台数	積載荷重
パッカー車 (2t)	2	2,000	ウィング車 (4t)	1	2,400
パッカー車 (3t)	1	3,150	ウィング車 (2t)	1	2,600
パッカー車 (3t)	1	2,600	吸引車(4t)	1	2,400
パッカー車 (3t)	1	3,050	吸引車(4t)	1	5,120
パッカー車 (3t)	1	2,700	クレーン (4t)	1	2,400
アームロール車 (2t)	1	2,000	クレーン (4t)	1	2,200
アームロール車 (4t)	1	3,300	パン	1	900
アームロール車 (4t・2t コンテナ兼用)	1	4,150	パン	1	350
アームロール車 (10t)	1	10,700			

(9) 産業廃棄物収集運搬実績(2024年度4月~2025年度3月)

産業廃棄物の種類	運搬実績量 (t)	産業廃棄物の種類	運搬実績量 (t)	
燃え殻	503.43	がれき類	86.374	
汚泥	544.315	ばいじん	130.63	
廃油	167.118	紙くず	62.238	
廃酸	8.775	木くず	395.701	一般廃棄物合計
廃アルカリ	307.390	動植物性残さ	87.24	4295.322 t
廃プラスチック類	1583.166	水銀使用製品 産業廃棄物	0.563	産業廃棄物合計
金属くず	355.401	石綿含有産業廃棄物	23.803	5047.594 t
ガラスくず等	231.319	特別管理 産業廃棄物	560.107	専ら物合計
繊維くず	0.024			192.274 t

(10) 廃棄物処理料金

ご依頼内容ごとにお見積り致しますので、お気軽にご相談ください。

なお、見積りにかかる費用は、無料です。

※営業時間 月～金 8:30～17:00 土 8:30～12:00

定休日 第2・4土曜日、日曜、祝日、年末・年始

3. 対象範囲と対象取組期間

(1) 認証・登録範囲

一般廃棄物、産業廃棄物ならびに

特別管理産業廃棄物の収集運搬、産業廃棄物の積替え保管

(2) 環境活動レポートの対象取組期間

2024年4月1日～2025年3月31日

※詳細情報は、(財)産業廃棄物処理事業振興財団『産廃情報ネット情報公開システム』を利用し公開しております。

産廃情報ネット URL: <http://www.sanpainet.or.jp/>

※山形県産業廃棄物収集運搬業については、**優良認定**の許可を取得しており、

優良産廃業者ナビゲーションシステムからもご覧いただけます

優良さんぱいナビ URL: <http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index.php>

4. 環境目標

(1) 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の6項目について、環境目標を設定しました。

- ①二酸化炭素排出量 ②廃棄物排出量 ③受託した産業廃棄物
④総排水量 ⑤グリーン購入の推進
⑥環境学習の実施 ⑦エコバックの利用促進 ※PRTR法に該当する化学物質の使用はありません。

(2) 主な環境負荷の実績

2024年度(2024年4月～2025年3月)当社における主な環境負荷の実績は下表に示す通りです。

二酸化炭素排出量合計 163,071.21 (kg-CO₂)

二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			廃棄物排出量 (t)		総排水量 (m ³) (水使用量)
電力 (係数:0.523)	灯油・LPG	ガソリン・軽油	一般廃棄物	産業廃棄物	
6074.12	1962.09	155,035	0.064	6.133	252

※電力の二酸化炭素換算係数は、平成30年度東北電力の調整後排出係数を使用しました。

(3) 環境目標(短期・中長期)の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、グリーン購入に係る環境負荷の削減のEA21必須項目について、単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

2020年度二酸化炭素排出量合計 163,830.81 (kg-CO₂) ※2020年度の実績

	単年度目標	中長期目標
	2024年度 (2024.4～2025.3)	2021～2025年度 (5年間)
二酸化炭素排出量	157,277,578 (kg-CO ₂)	155,639,2695 (kg-CO ₂)
① 電力 ※5,081 kg-co ₂	2020年度実績値の4%削減	2020年度実績値の5%削減
② 灯油・LPG ※2,451 kg-co ₂	2020年度実績値の4%削減	2020年度実績値の5%削減
③ ガソリン・軽油 ※156,298 kg-co ₂	2020年度実績値の4%削減	2020年度実績値の5%削減
一般廃棄物排出量	2020年度実績値の4%削減	2020年度実績値の5%削減
燃料1ℓに対する運搬量	2020年度実績値の4%増加	2020年度実績値の5%増加
総排水量(水使用量)	2020年度実績値の4%削減	2020年度実績値の5%削減
グリーン購入の推進	—	全体の50%以上
地域の清掃活動	1回/月	1回/月

(4) 2024 年度 (取組対象期間) および 2025 年度 (次年度) 環境目標値

4-(2) の考え方に従って、2024 年度実績値を基に、2025 年度 (2025.4~2026.3) の具体的目標値に下記のように算出しました。

	2020年度実績 (2020.4~2021.3)	2024年度目標 (2024.4~2025.3)	2024年度実績 (2024.4~2025.3)	2025年度目標 (2025.4~2026.3)
二酸化炭素総排出量	1,638,308.81 kg-CO2	157,277.58 kg-CO2	163,071.21 kg-CO2	154,917.65 kg-CO2
①電力	5,081.47 kg-CO2	4,878.21 kg-CO2	6074.12 kg-CO2	5,770.41 kg-CO2
②灯油・LPG	2,451.20 kg-CO2	2,353.15 kg-CO2	1962.09 kg-CO2	1,863.99 kg-CO2
③ガソリン・軽油	156,298.14 kg-CO2	150,046.21 kg-CO2	155,035 kg-CO2	147,283.25 kg-CO2
ガソリン・軽油(燃費)	燃費4.7km/L	燃費4.5km/L	燃費4.4km/L	燃費4.5km/L
一般廃棄物排出量	60kg	40kg	64kg	63kg
燃料に対する運搬量	154kg/L	160kg/L	147kg/L	161kg/L
グリーン購入の推進	—	40%	40%	50%
地域の清掃活動	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月
環境学習の実施	職場体験の実施	職場体験の実施	職場体験の実施	職場体験の実施

2025 年 4 から新社屋、旧社屋ともに使用します。

2025 年度は、2026 年度に向けての現状分析期間と考えています。

Eco Relation
株式会社 エコリレーション
SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2023年9月1日
株式会社 エコリレーション
代表取締役 斎藤 英

SDGsの達成に向けた取組み

社員の働きがい追求

社員・社員の健康の増進を第一に考え、健康に安心安全な職場作りを努めます。

【主な取組み】

- 定期健康診断の実施と結果のフォロー
- 女性の定期健康診断に婦人科検診を加え
- 1日健康診断体制の取得を促進
- 従業員のカリキュラムを積極的に支援
- 各種ハラスメントや差別の禁止を徹底

環境対策

事業活動における環境負荷の低減に努めます。

【主な取組み】

- エコアクション21の認証取得
- 環境に配慮した車両の導入
- 再生タイヤの積極利用
- グリーン対象商品の購入

地域・社会貢献

地域のイベントへの参加・協賛を通じて、持続可能な地域社会づくりに貢献します。

【主な取組み】

- BCP(事業継続計画)策定
- 地元人材の積極採用
- 地域イベントへの参加・協賛
- 各学校での課外授業及び生徒の職場体験の受入

SDGsとは

SDGsとは「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略で、2030年を目標に、社会が抱える問題を解決し、明るい未来をつくるための17の目標と169のターゲットに集約したものです。

SDGsは、2015年9月に国連において、加盟国193か国の全会一致で採択された国際目標です。

やまがたスマイル企業
SMILE

スマイル企業 認定証

株式会社エコリレーション 殿

貴社は、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進に積極的に取り組んでいると認められますので、やまがたスマイル企業として認定します。

認定期間 令和9年10月31日まで

令和6年11月1日
山形県知事 吉村美栄子

5. 主な環境活動計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減

① 電力使用量の削減

- 不要な照明の消灯
- 不要な蛍光灯を外す
- 室温は、冷房期 26℃で管理する。暖房にエアコンを使わない
- 夏場、エアコンはなるべく使用せず、扇風機を使うようにする
- 使用していないエリアの空調は停止
- OA 機器・家電製品の待機電力の削減
- 長時間使わないコンセントは抜く
- 冷蔵庫の温度設定を最低にする

② 収集運搬車両等の燃費向上

- エコ運転の教育研修
- アイドリングの停止
- タイヤの空気圧を定期的に調整する
- 定期的にエンジンオイル交換及びオイルエレメント交換、燃料エレメント交換、エアエレメント交換を行う
- 車両のグリスアップを行う
- 車両日報などで運行記録（燃費も含む）を把握する
- 車両運行計画の合理化による走行距離の削減

③ LPGガスの削減

- 必要があるときのみ使う

④ 灯油の削減

- 長時間人が離れる場合、こまめな消火を行う

(2) 廃棄物排出量の削減

- 一般廃棄物の排出量記録
- コピー用紙等の紙屑は資源ごみとしてリサイクル
- コピー用紙は大判用紙にコピーし切り分ける
- コピー用紙の裏も活用する（メモ用紙や、印刷時に）
- コピー用紙の両面使用（ページ数がある印刷物の場合）
- 使用済み封筒の再利用

(3) 受託した産業廃棄物

① 燃料に対する運搬量の増加

- 仕事の受注による運搬量の増加

② 産業廃棄物の適正管理

- 保管場所の管理
- マニフェスト・契約書類の管理

(4) 排水量(水使用量)の削減

- 手洗い時の節水(掲示)

(5) グリーン購入の推進

- 購入事務用品グリーン購入対象品の確認
- 購入時になるべくエコ商品を選ぶ

(6) 地域環境保全への協力

- 搬入路沿いのゴミ拾いを実施する、夏場は会社周辺の草刈をする
- 普段からエコバック、マイ箸、マイ水筒などのエコ活動を奨励する
- リサイクルに回せる資源ごみの収集と運搬

(7) 社会奉仕活動

- 社員のエコバック使用率の調査
- キャリアスタートウィーク等(職場体験)の実施
- 学校や企業でのセミナー等の実施

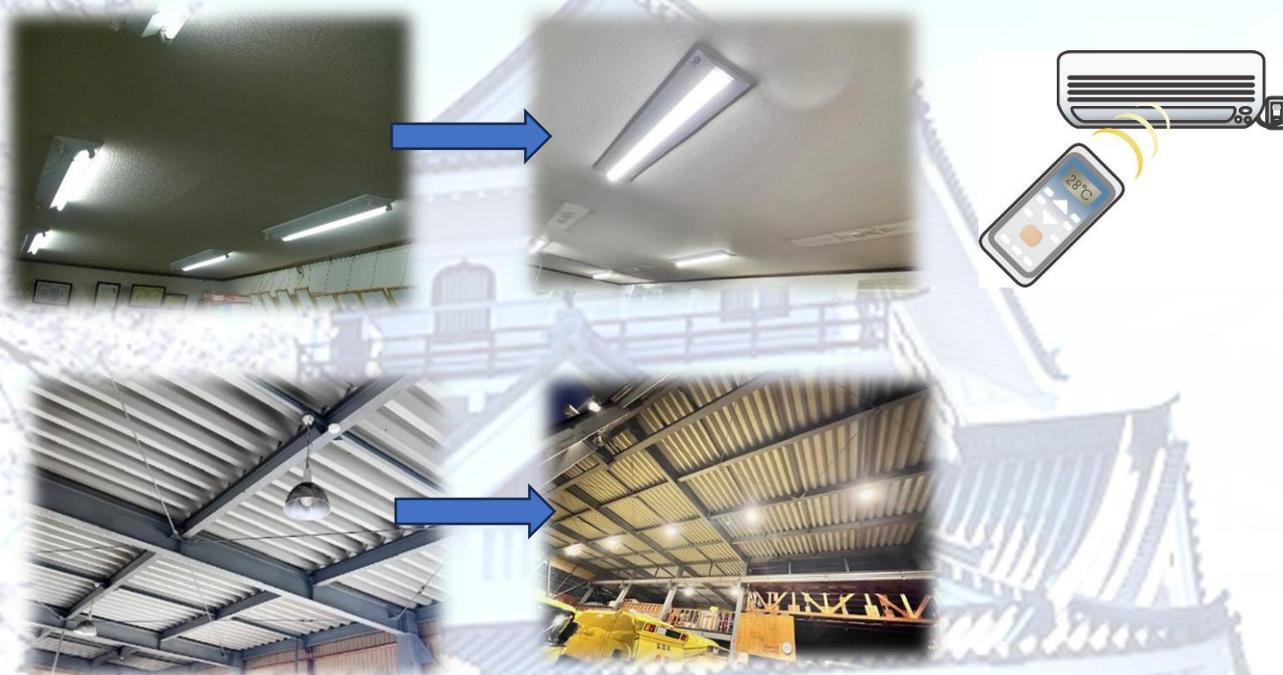
対象取組期間(12ヶ月)における環境目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

(1) 二酸化炭素排出量



電力使用(目標:2020年度実績値の4%削減) ※平成30年度東北電力調整後排出係数0.523

2020年度実績	2023年度実績	2024年度目標	2024年実績	削減量※1	削減率	評価※2
5,081.47 kg-CO ₂	5,672.46 kg-CO ₂	4,878.21 kg-CO ₂	6,074.12 kg-CO ₂	-993 kg-CO ₂	▲ 19.5%	×



2024年4月~2025年3月の電力に対する二酸化炭素排出量累計で6,005.61 kg-CO₂でした。

993 kg-CO₂ (-19.5%)の増加となり目標未達でした。

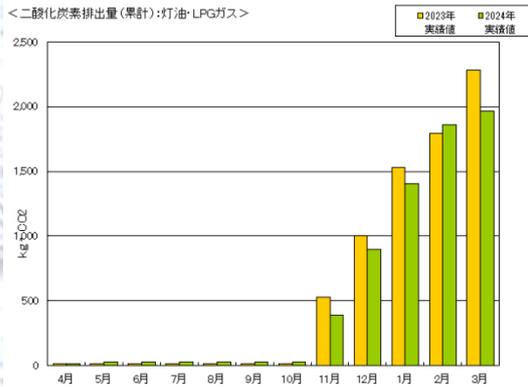
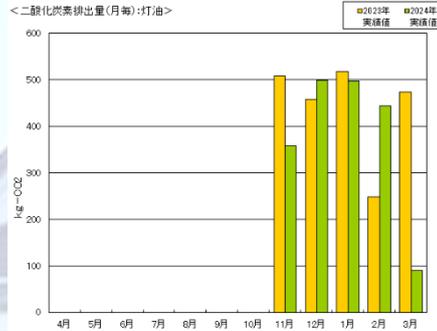
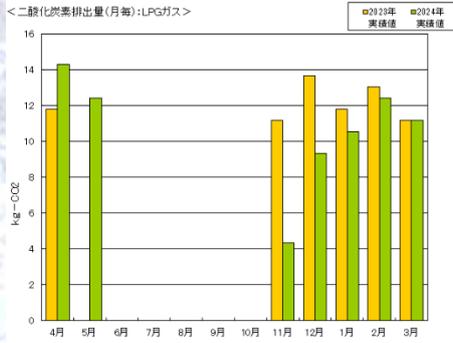
2024年も猛暑日多く6月から冷房を使用しました。冷房時は扇風機と併用し、室温が低めの時間から使用するようにしました。室温が上がってからのスタートより省エネにもなり快適に過ごせました。

9月からは新社屋の工事が始まり建設に伴う電気の使用もありました。また1月には照明器具の間引きを行いLED照明に変えました。



灯油・LPG使用 (目標:2020 年度実績値の 4%削減)

2020 年度実績	2023 年度実績	2024 年目標	2024 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
2,451.2 kg-CO ₂	2,278.79 kg-CO ₂	2,353.15 kg-CO ₂	1,962.09 kg-CO ₂	489.2 kg-CO ₂	20%	○



グラフは 2023 年度と比較したものです。

2024 年 4 月～2025 年 3 月の
灯油・LPG に対する二酸化炭素排
出量累計で 489.2 kg-CO₂
(20%) の削減になりました。

灯油・LPG ともに削減に成功してい
ます。社員全員の努力の結果だと思
います。



ガソリン・軽油 (目標:2020 年度実績値の 4%削減)

2020 年度実績	2023 年度実績	2024 年度目標	2024 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
156,298.14 kg-CO ₂	161,261.89 kg-CO ₂	150,046.21 kg-CO ₂	174,794 kg-CO ₂	18,495 kg-CO ₂	▲ 1.1%	×

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2…評価:○→達成 ×→未達成

2024 年 4 月～2025 年 3 月までの作業車のガソリン・軽油に対する二酸化炭素排出量累計
は、174,789 kg-CO₂でした。18,495 kg-CO₂ (1.1%) の増加になりました。

平均燃費では、4.5 km/ℓ でした。平均燃費の目標が 4.5 km/ℓ でしたので同比となりました。

営業車での燃料使用量は、1554.89ℓで二酸化炭素排出量は 3607.34 kg-CO₂でした。

作業車・営業車合わせて社内割合は 95%となっています。

(2) 廃棄物排出量

- 一般廃棄物 (目標:2020 年度の 4%削減)

2024 年 4 月～2025 年 3 月の可燃ゴミで 64 kg の排出があり、資源ゴミは 91 kg となりました。

今後も排出ゴミの削減に力を入れていきたいです。

※紙類:段ボール・新聞紙・廃コピー用紙・雑誌類

その他の可燃ゴミ:塵芥類・紙くず類・布類など(焼却処理)

- 自社排出の産業廃棄物

産業廃棄物は、6133 kg ありました。

新社屋建設に伴う廃棄物がありました。

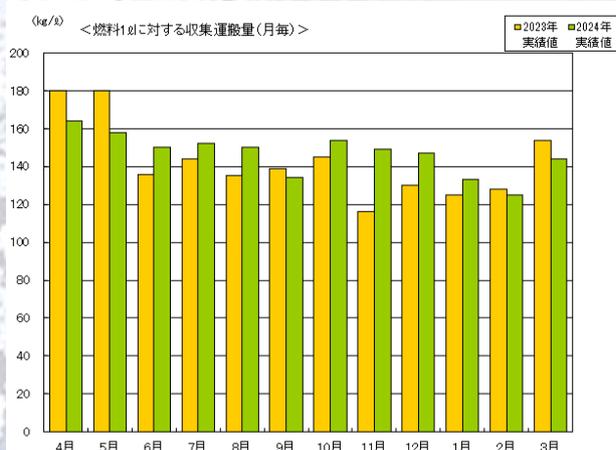


(3) 燃料に対する運搬量 (目標:2020 年度実績値の 4%増加)

2020 年度実績	203 年度実績	2024 年度目標	2024 年度実績	増加量※1	削減率	評価※2
154kg/ℓ	142kg/ℓ	160kg/ℓ	147kg/ℓ	▲ 4kg/ℓ	▲ 2.8%	×

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナスを示す。

※2…評価:○→達成 ×→未達成



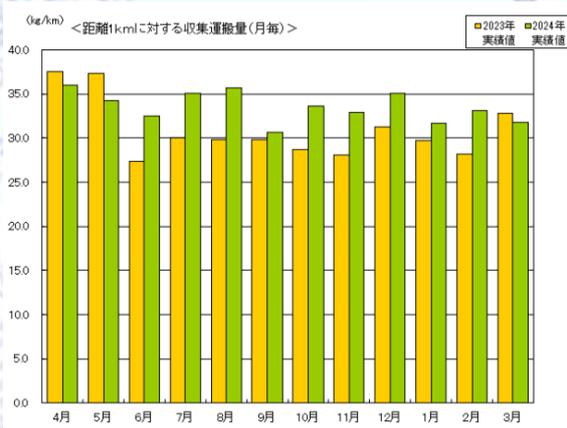
2024 年 4 月～2025 年 3 月の
燃費に対する運搬量の平均が
147 kg (kg/ℓ) で 4 kg (-2.8%) の
減少になり目標未達となりました。

※過積載を容認するものではありません。

(4) 距離に対する運搬量 (目標:2020 年度実績値の 4%増加)

2020 年度実績	2023 年度実績	2024 年度目標	2024 年度実績	増加量※1	削減率	評価※2
30.9kg/km	33.7kg/km	34kg/km	33.5kg/km	▲ 2.6kg/km	▲ 8.4%	×

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナスを示す。
 ※2…評価:○→達成できた ×→未達成



2024 年 4 月～2025 年 3 月の距離に対する運搬量の平均が 2.6 kg (%) の減少となり目標達成となりませんでした。

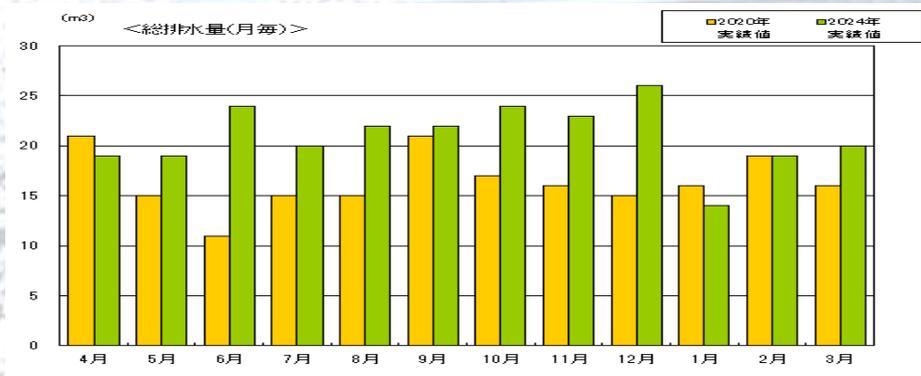
※過積載を容認するものではありません。

(4) 総排水量・水使用量 (目標:2020 年度実績値の 4%削減)

水使用量

2020 年度実績	2023 年度実績	2024 年度目標	2024 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
197m ³	246m ³	189 m ³	252 m ³	▲ 55m ³	▲ 27.9%	×

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。
 ※2…評価:○→達成 ×→未達成



2024 年 4 月～2025 年 3 月の総排水量・水使用量は、252 m³でした。55 m³ (27.9%) の増加になり目標達成となりませんでした。

※総排水量は、地下水を使用していないので水道の使用量と等しくなります。

(5) グリーン購入の推進

事務用品の購入の際はカタログ等でグリーン化に対応した商品を選び購入する事にしています。

グリーン商品としては、ファイル等を購入しています。

今年度は消耗品購入合計のうち30%がグリーン対象商品でした。

購入品は、再度検討しグリーン対象商品に変更していきます。

(6) 地域環境保全への協力(会社と会社周辺の清掃活動月1回実施)

清掃活動については、毎月第1土曜日を「一斉清掃の日」に設定し、従業員全員で会社内外の清掃、会社周辺のゴミ拾いを行いました。

また、従業員一人一人が整理整頓を心掛けています。

2024年度はキャリアウィークの希望者があり市内の中学生が3日間の職場体験を行いました。また例年受け入れを実施している上山高等養護学校の生徒の職場体験も新型コロナウイルス感染予防から中止になっています。

市内の小学生の委託業務見学がありました。今年度も、市施設の回収の様子を見学してもらいました。

パッカー車の操作を体験してもらい回収方法等や服装についても興味をもち真剣に話を聞いてくれていました。



7. 環境活動計画の取組結果の評価、次年度の取組内容

(1) 環境活動計画の取組状況の評価（2024年4月～2025年3月）

◎…十分に取組んだ ○…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施） —…評価保留

取組項目	具体的活動計画（2024年4月～2025年3月）	評価	原因と今後の取組	2025年度計画	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	●不要な照明の消灯	◎		継続
		●不要な蛍光灯を外す	◎		継続
		●室温は、冷房期26℃で管理する。暖房にエアコンは使わない	○		継続
		●夏場、エアコンと扇風機を併用して使用する	◎		継続
		●使用していないエリアの空調は停止	◎		継続
		●OA機器、家電製品の待機電力の削減	○		継続
		●長時間使わないコンセントは抜く	◎		継続
		●冷蔵庫の温度設定を最低にする	○		継続
	収集運搬費の削減	●エコ運転の教育研修	◎		継続
		●アイドリングの停止	○		継続
		●タイヤの空気圧を定期的に調整する	◎		継続
		●定期的にエンジンオイル交換及びオイルエレメント交換、燃料エレメント交換、エアエレメント交換を行う	◎		継続
		●車両のグリスアップを行う	◎		継続
		●車両日報などで運行記録（燃費も含む）を把握する	◎		継続
		●車両運行計画の合理化による走行距離の削減	○		継続
	LPG	●必要があるときのみ使う	○		継続
	灯油	●長時間人が離れる場合、こまめな消火を行う	○		継続
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	●一般廃棄物の排出量記録	◎	継続	
		●コピー用紙等の紙屑は資源ごみとしてリサイクル	◎	継続	
		●コピー用紙は大判用紙にコピーし切り分ける	◎	継続	
		●コピー用紙の裏も活用する（メモ用紙や、印刷時）	◎	継続	
		●コピー用紙の両面使用（ページ数がある印刷物の場合）	◎	継続	
		●使用済み封筒の再利用	◎	継続	
	運搬量	●仕事の受注による運搬量の増加	◎	継続	
	管理	●保管場所の管理	◎	継続	
	●マニフェスト・契約書類も管理	◎	継続		
水の削減	●手洗い時の節水（掲示）	◎		継続	
グリーン購入の推進	●購入事務用品グリーン購入対象品の確認	◎		継続	
全地域への環境協力	美化	●搬入路沿いのごみ拾いを実施する。夏場は会社周辺の草刈りをする	◎	継続	
	社員	●普段からエコバック・マイ箸・マイ水筒などエコ活動を奨励する	◎	継続	
	資源	●リサイクルに回せる資源ごみの収集と運搬	◎	継続	
	地域	●地域の清掃を行う	◎	継続	
	学習	●従業員に対し環境学習を行う。キャリアスタートウィーク等の実施	○	継続	

(2) 次年度の取組内容(方向性)

今年度は、9月より新社屋の建設がスタートし3月に竣工となりました。また1月には、事務所、休憩室、作業場の照明をLED照明に変えましたが、環境活動の結果としては、灯油・LPG以外の項目で増加となり目標は未達成となりました。

次年度は、新社屋と旧事務所を使用するので目標の見直しが必要になってきます。まずは現状把握を優先的にやりたいと思います。

今年度の結果から次年度は、活動の成果が社員全員の目に見える様また一人一人が意識し削減の目標達成を目指して努力できるような体制作りをしていきます。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び

評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当社は、廃棄物処理法、浄化槽法、家電リサイクル法、自動車リサイクル法などの適用を受けませんが、2024年4月1日付けでその遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、会社創業以来一度もありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

取組状況の結果を環境管理責任者から報告を確認しました。

目標達成に向けて社員一丸となってエコアクション21に取り組みました。しかし、目標未達成という結果は残念に思います。次年度は新社屋に加え旧事務所、休憩室も使用する事になります。電力等の使用量は多くなると考えられますので新たな目標の設定が必要になります。2025年度はデータ収集をしっかり行い目標に向かって努力できる、今後も誰も取り残される事のない様な「社員全員参加」のシステムを作っていきます。

エコアクション21を長年継続出来ているのは社員全員の協力があるからだと思います。今後も真摯に向き合い取り組んでいきます。

また今年度も高等養護学校の生徒の現場学習の受け入れが中止となりましたが、市内の小学生の見学や中学生の職場体験が行われるなど地域貢献はできたと思います。また、周辺のゴミ拾いをするなど、地域の奉仕活動にも積極的に取り組んでいます。

今後も社員全員で環境保全活動に取組み、地域・社会貢献に従事していきます。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

株式会社 エコリレーション

〒999-3201 山形県 上山市 宮脇 字山岸 237番地

連絡先: TEL 023-695-5678 FAX 023-695-5679

ホームページ <http://eco-rela.com>

